

# 施策評価シート(令和2年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (1) 都市づくりの推進

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

## 基本施策が目指す姿

市民が、魅力的な都市空間のもと、都市機能を効率的・効果的に利活用し、安全で快適に暮らしています。

## 関連する分野別計画

亀山市都市マスタープラン、亀山市景観計画

## 成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値	
				H29	H30	R1	R2	R3		
1	用途指定地域内の宅地面積	ha	674.9	H27	677.2	677.6	678.1	678.5		682.0
2	市街地再開発事業等が行われた件数	件	-	H28	0	0	1	1		2
3	公園等環境美化ボランティア活動団体数	団体	19	H28	19	19	18	20		24
4										
5										

## 市民アンケート調査

項目	現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察	
1 亀山駅とその周辺が整備されている	重要度	1.08	0.95	亀山駅周辺の整備、魅力的な市街地形成、まちなみ景観形成の3項目は、いずれも前回より重要度は下降したものの、満足度は上昇している。 亀山駅周辺整備、魅力的な市街地形成については、事業進捗により満足度は上昇したものと考えられるが、評価点数が低いことから、関連施策を推進し、さらに満足度向上に努める必要がある。	
	満足度	0.87	1.12		0.99
2 魅力的な市街地が形成されている	重要度	1.07	0.98		0.90
	満足度	1.01	1.06		1.03
3 美しいまちなみや景観がつけられている	重要度	0.98	0.94		0.93
	満足度	0.33	0.44	0.36	
4 公園・広場・緑地が充実している	重要度	1.04	0.99	0.99	
	満足度	0.11	0.04	0.19	
5	重要度				
	満足度				

## 総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
A 順調に進んでいる	土地利用制度の検討や地籍の明確化、居住誘導区域内への住宅取得支援などの「計画的な都市づくりの推進」、まちなみ修理修景事業や景観計画に基づく安らぎのある都市形成に加え、空き店舗を活用した創業支援などの「魅力的な都市の形成」、公園長寿命化計画に基づく整備や指定管理による「公園・緑地の整備及び利活用」は進んでおり、個別判定をAとしている。市街地再開発事業などの「活力ある市街地の形成」は、まずまず進んでおり、個別判定をBとしている。また、基本施策に設定した3指標のうち2指標に実績値の上昇がみられ、市民アンケートでは、4項目すべてにおいて満足度が上昇しており、基本施策の目指す姿に向け、各施策の推進が図られていると考えられることから、総合判定をAとした。
反省点・課題	
<p>亀山市都市マスタープランにおける都市づくりの戦略方針に基づき、都市機能や居住の適切な誘導を行うとともに、道路や公共交通を活用したコンパクト・プラス・ネットワークの都市づくりを計画的に進める必要があり、土地利用制度、エリアプラン策定を進めるため、地域課題等に対応した制度、計画とし、地域住民の理解を十分得ていく必要がある。</p> <p>亀山駅周辺の再開発事業を進めるため、工事が早期完了できるよう、組合への支援を継続していく必要がある。また、亀山駅周辺整備事業の全体計画を明確にするため、1～4ブロック及び周辺地域における整備計画を権利者等とともに整理する必要がある。</p>	

## 今後の展開方針

道路や交通ネットワークの強化を図るとともに、都市づくりの戦略方針に基づき土地利用制度の検討や用途地域の見直しを計画的に進め、都市マスタープランを具現化していく。また、リニア中央新幹線の駅位置や新庁舎の位置など核となる機能を意識して都市づくりを進め、基礎調査、分析による基本データを基に地域住民との合意形成、検討組織での検討を十分に行い、制度、計画の策定を進めていく。

計画的に亀山駅周辺の整備事業を進めるため、組合等と密に連携を図るとともに、組合への支援を継続し進めていく。さらに、全体計画を明確にするため、亀山駅周辺まちづくり協議会と連携し、権利者等との協議を行いながら、周辺地域と連携した具体的な整備方法を整理していく。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向		計画的な都市づくりの推進					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	都市マスタープランに掲げた土地利用制度の検討及び都市計画道路の見直しを推進するため、基礎調査、現状分析を行うとともに、都市計画道路和田太岡寺線の一部廃止の手続きを進めた。また、土地利用の促進や大規模災害に備えるため、計画的に地籍調査を行った。さらに、居住誘導区域内での住宅取得に対して、23件の助成金を交付した。	評価	土地利用制度の活用や都市計画決定の見直しを行うことにより、誘導施設の集約化を進め、コンパクト・プラスネットワークの都市づくりを推進することができた。また、地籍の明確化や居住誘導区域内への定住化を図ることで、計画的な都市づくりに向け推進することができている。			
				順調に進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17002	地籍調査事業	主	17,975 / 17,099		A	B
	19001	都市づくり戦略推進事業	主	7,300 / 7,208		A	A
	19002	住宅取得支援事業	主	6,000 / 5,579		A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		活力ある市街地の形成					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
B	活動	市街地再開発事業について、組合員との協議や工事の発注・監理業務など、組合への支援を積極的に行うとともに、補助金や負担金の執行を行った。また、1・3・4ブロックの道路整備や駐輪場整備について、用地買収や補償等の業務を実施した。	評価	市街地再開発事業について、当初の予定より進捗に遅れはあるものの、令和4年10月の工事完成に向け、土地の明渡しが進み、工事に着手した。また、1・3・4ブロックの道路整備や駐輪場整備についても、権利者との補償等の契約を進めており、活力ある市街地の形成は、まずまず進んでいる。			
				まずまず進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17003	亀山駅周辺整備事業	主	657,506 / 632,919		B	B
				/			
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向		魅力的な都市の形成					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	歴史のまちなみの維持・継承を図るため、旧田中家住宅保存整備事業等の修理修景事業に取り組むとともに、適切な景観形成を図るため、建築物等に対し、景観計画に基づく助言・相談・指導等を実施した。また、創業セミナーの開催や若者・女性の支援策として拡充した空き店舗等活用支援事業補助金などを活用して、市内での創業を支援した。	評価	文化財としての価値を後世に伝えるべく、計画どおりにまちなみ修理修景事業を実施できた。また、景観計画に基づき、安らぎのある都市形成を推進できた。さらに、創業等支援については、市内では補助制度を活用した創業が2件あり、にぎわいのある商業地域の形成に繋がっており、魅力的な都市の形成は進んでいる。			
				順調に進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17037	伝統的建造物群保存修理修景事業	主	39,580 / 39,030		A	A
	17062	創業等支援事業	主	3,600 / 2,740		A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果
	第2期亀山市歴史的風致維持向上計画の策定					A	A

施策の方向		公園・緑地の整備及び利活用					
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	都市公園である亀山公園・西野公園・東野公園に配置されている運動施設を中心に、施設の安全性の確保、予防保全による施設修繕等の平準化を図るため、公園施設長寿命化計画による整備に取り組むとともに、指定管理者による公園の維持管理を行った。	評価	公園の計画的な維持管理に向け、基盤を整えることができたとともに、指定管理者により適正な維持管理を行った。また、環境美化ボランティア活動団体数も増加しており、公園・緑地の整備及び利活用は推進できている。			
				順調に進んでいる			
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17005	西野公園改修事業(公園施設)	主	29,000 / 28,946		A	A
	8079	市単公園整備事業	標	20,600 / 19,698		A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果
	亀山市公園等環境美化ボランティア推進					A	A